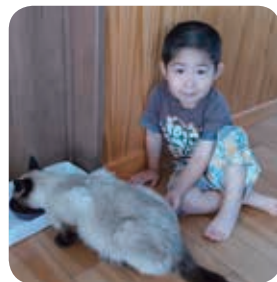


今月の古河っ子

いい子が育つ古河



小久保柚希 くん
(令和3年12月生まれ)

妹を大切にする優しいお兄ちゃんになってください！



櫻井乙葉 ちゃん
(令和3年4月生まれ)

お歌がだいすき！ わが家の無敵なアイドル♡



櫻井仁 くん
(令和5年6月生まれ)

いつもご機嫌な仁くん！
たくさん笑う子になってね



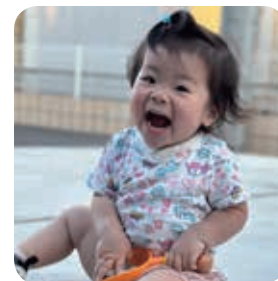
荒俣悠李 くん
(令和4年6月生まれ)

わが家のアイドル♡かわい
い笑顔に癒やされています。



栗田笑瑠 くん
(令和5年7月生まれ)

わが家のアイドル笑瑠く
ん！ だいすきだよ♡



小林咲愛 ちゃん
(令和5年1月生まれ)

ママとパパのえあちゃん
♡New Kawaii♡

お子さんの写真を募集中！＜対象＞0～3歳の市内在住のお子さん ＜応募方法＞メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(総シティブロモーション課Tel92-3111)へ申し込みください♪



命に関わる仕事に

板垣奈々実さん 上辺見小学校6年生

私の将来の夢は、看護師になることです。私には、生まれつき心臓の病があります。何度か入院や手術をした時に、看護師さんたちが優しく接してくれました。また、いろいろな処置をしているところも間近で見ました。その経験から、私もいろいろな病気を治す手伝いができる仕事をしたいと思うようになりました。看護師になる夢をかなえるために、たくさん勉強をして、何事も一生懸命にがんばりたいです。



わたしの夢

キラリ 古河ビト

自由な発想で詩作を続ける
第42回現代詩人賞を受賞

粕谷栄市さん(89歳・本町二丁目)

昨年10月に10年ぶりに刊行した詩集『楽園』で、第42回現代詩人賞を受賞した粕谷さん。これまで刊行した個人詩集でも数々の賞を受賞しています。市内製茶問屋の8代目でもある、生粋の古河人の粕谷さんに、詩作への思いを伺いました。



市内で江戸時代から続く製茶問屋「二津屋」を営む粕谷さん。幼少の頃は戦争の末期で、毎日が目まぐるしく変わる激動の日々を生き抜いてきました。その時に育まれた豊かな感性は、後の詩作に大きな影響を与えたといえます。

早稲田大学で本格的に詩と向き合い、卒業後は実家で商売をしながら詩作に没頭。37歳の時に初めて刊行した詩集『世界の構造』で第2回高見順賞を受賞します。その後も発表した個人詩集8作品のうち、6作品が賞を受賞するなど、現代詩壇から非常に高く評価されてきました。

粕谷さんが書く作品は全て散文詩で、日記のような感覚で自由に表現できるのが魅力とのこと。また、お茶と詩はどこか通じる部分があると話します。お茶の良し悪しは考えて分かるものではなく、見て分かるもの。詩も同様に、解釈するものではなく、感じたままに表現することが大切だそうです。

「自分の詩を良いと思ったなら終わり」と語る粕谷さん。数々の文学賞受賞にも満足することなく、100歳になっても書き続けたいと、学びの姿勢を忘れません。秋の夜長、香り高いお茶を飲みながら、粕谷さんがつくり出す世界観に浸ってみてはいかがでしょうか。

古河文学館企画展 「散文詩の巨人 粕谷栄市」

期間 12月24日(木)まで
費用 200円(小中高生50円)
問 古河文学館
Tel21-1129



▲「二津屋」内の部屋で執筆します



▲圧巻の作品を、ぜひ、ご覧ください